

意見書

岩城地域協議会

事項	効果的な案内看板の設置など観光案内機能の充実について
----	----------------------------

意見内容
昨年9月17日待望の日沿道・岩城インターチェンジ以南、にかほ市間32.8^{キロ}が開通し、昨年10月の国道7号の交通量調査によると、9,200台が岩城IC～松ヶ崎亀田IC間を通過し、うち岩城インターチェンジの利用台数が6,700台となっており、日常の行動範囲が拡大するなど市民生活の利便性が一段と高まってきています。反面、これまで2万台（岩城二古地区24h交通量）の車両が通行した国道7号は交通量が半減し、本地域の観光拠点である天鷲村、道の駅「岩城」等の施設は素通りされ、開通以来各施設の入込客数が減少している現状で、地域経済や活性化にも大きな影響を与えています。 本地域は、市の発展計画、観光振興計画において、沿岸観光交流ゾーンとしてゾーニングされ、県内外からの入込客が期待されることから、早急に天鷲村、道の駅「岩城」等への効果的な誘導看板等の案内機能を充実させ、日本海沿岸の観光ルートの確立に向けた整備を実施されるよう提案します。

※添付書類：管内図（観光案内看板設置位置図）